

2016年2月23日

三菱UFJニコス株式会社

**三菱UFJニコス、「横浜ベイクォーター」に
訪日外国人向け“外貨建てカード決済サービス”を導入！**

～横浜駅隣接のリゾート型ショッピングセンターで2月24日、取り扱いスタート～

三菱UFJニコスはこの度、横浜ダイヤビルマネジメント株式会社(神奈川県横浜市、代表取締役 竹内和彦)と提携し、同社運営のショッピングセンター「横浜ベイクォーター」に、訪日外国人向けの外貨建てカード決済サービス「DCC(ダイナミック・カレンシー・コンバージョン)決済サービス」を導入、2月24日に同施設各テナントでその取り扱いをスタートします。

「横浜ベイクォーター」は、横浜駅東口エリア(ポートサイド地区)の地上8階・地下2階建て、延べ床面積約56,000平方メートルの大型ショッピングセンター。客船に見立てた佇まいや海上交通「シーバス」乗り場の併設で高級感とリゾート感覚を提供し、国内外からの来場客を集めています。

同社は著しく増加している訪日外国人へのサービス拡充(インバウンド施策)に注力しており、今般、「横浜ベイクォーター」の各テナント(ファッション、雑貨、インテリア、レストラン、カフェ等)約100店に、外貨建てによるカード決済サービスの導入を決めたものです。

「DCC決済サービス」は、日本国内において海外発行カード(VisaとMasterCard®)による外貨※建てでの決済を可能とする仕組みで、当社運用のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」導入加盟店で利用可能。これにより、訪日外国人は店頭で「自国通貨建て」での支払いを選べば、為替変動を心配することなく、支払い金額を確定できるものです。

※ 米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロなど19通貨

当社は、東京オリンピック・パラリンピックが開催となる2020年に向け、今後も訪日外国人向けの決済サービスの環境整備に注力していきます。

<サービス概要>

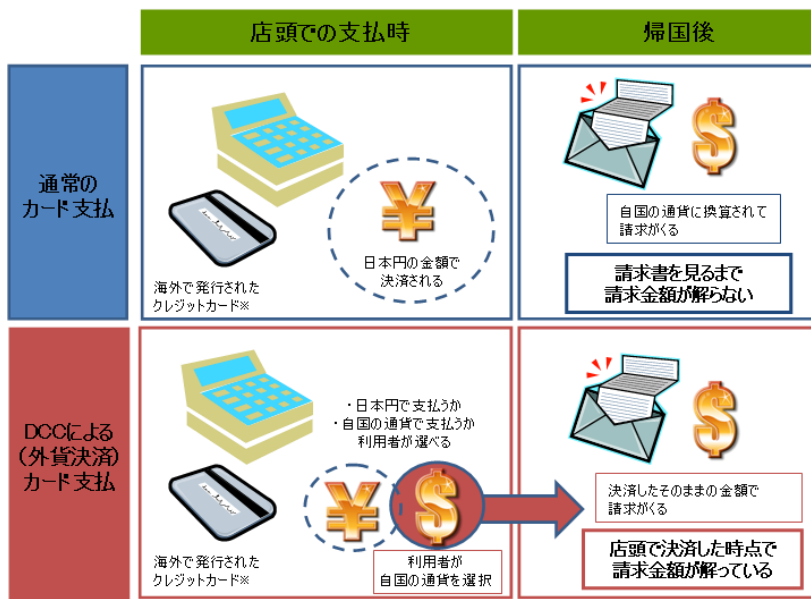
1. 対象取引: 海外発行のVisa、MasterCard®カード会員によるカード決済
2. 対応通貨: 19通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロ、香港ドル、シンガポール・ドル、英ポンド、タイ・バーツ、カナダ・ドル、マレーシア・リングギット、ベトナム・ドン、ロシア・ルーブル、スイス・フラン、インド・ルピー、フィリピン・ペソ、インドネシア・ルピア、スウェーデン・クローナ、UAE・ディルハム)

以上

<参考資料>

■ 利用イメージ

DCC決済サービスの利用イメージ



※請求通貨がUSDのクレジットカードの例

■ 「J-Mups」の概要

1. クラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」の主な特長

- (1) 拡張性: クレジットカード・銀聯カード・J-Debit(ジェイデビット)・各規格の電子マネーといった各種決済サービスに対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載できる。訪日外国人向けの「外貨建てカード決済サービス」にも対応。
- (2) 低価格: 従来端末に比べ低価格。インターネット回線を利用することで通信コストの削減も実現。
- (3) 高セキュリティ: 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI-DSS準拠認定。
- (4) 高速処理: クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)

2. 端末イメージ

